

ありがとう

2020.12.4

こここのところ意識せずに、心の中で「ありがとうございます」と唱えていることが増えた。気がつく、いろいろなこと、いろいろなものに対して「ありがとう」と言っている。

車を運転していると、道路の左側を歩いている方や自転車に乗っている方を徐行しながら追い越すことがある。すると、「ありがとう」と頭を下げている自分がいる。「ありがとう」と唱えるようになってから、以前よりも車間距離を取るようになった。以前にも増して安全運転をするようになった。

先生方が、忙しい中、自分の仕事として発議書を出してくれる。最近では、発議書に直接あるいは付箋紙に「ありがとうございます」と書くことが増えた。そうすると、先生方が苦勞しながら仕事をしている姿が浮かんでくるから不思議である。

事務長さんが、毎日「お願いします」と、校長室に発議書等が挟まれたバインダーの山を持ってきてくれる。今までは、「はい」と言った感じだったが、毎回「ありがとうございます」と言うようになった。すると、今まで以上に、事務長さんのご勞苦に思いを寄せるようになった。

先生方が用事があり、校長室に来てくれる。今までも「ありがとうございます」と言うことが多かったが、今では一度につき2～3回は「ありがとうございます」と言うようになった。一番は、校長室への来室回数が多い教頭先生への「ありがとうございます」が格段に増えたことである。改めて、この教頭先生のおかげで自分は校長職を務めることができているという感謝の気持ちが自然と湧いてくる。

次の言葉がある。本校の3年2組の教卓に貼ってある言葉である。生徒から見える場所に貼ってある。担任からの熱いメッセージであろう。

「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」

この言葉は、ずっと昔から知っていた。そして長きにわたり、自分なりに変えよう、変えねばならないと努力してきた。だが、あまりにもうまくいかない、努力することを投げ出した時期もある。結局、何も変わらなかった。変えることができなかった。つい先日までは。

そんな自分が「ありがとうの法則」に出会い、変わることができた気がする。劇的な変化である。今までこんなことは一度もなかった。使っているのは「ありがとう」と「ありがとうございます」だけである。この言葉に、これほどまでの力があるとは驚きである。

とはいえ、まだまだ人格が変わるほどのレベルではない。運命が変わるとすれば、かなり先のことであろう。それでも、続けていく見通しがついたことは大きな収穫である。今までは何か、もやがかかったような景色だったが、一気にクリアになった。心の持ち様が変わったのであろう。心が変わると、見える景色まで変わることを知った。

「ありがとう」を使っていると気分がいい。毎朝、通勤途中に寄っているコンビニのレジでも「ありがとうございます」と頭を下げるようになった。人間、変われば変わるものである。家でも家人に対して「ありがとう」を毎日、今まで以上に言うようになった。何と言っても一番苦勞をかけている相手である。年末になると息子と娘が帰省してくると思うが、事あるごとに「ありがとう」などと言っている私を見て多少驚くかもしれない。「ありがとう」は、私にとって魔法の言葉である。